

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

ライフステージにおける「食」と「住」、「癒し」のサービスを通じ、社会の発展に寄与すること

売上高
2,800億円

営業利益
280億円

営業利益率
10%

ROE
10%

② 中長期の経営戦略

1. 寮事業の拡大展開

中核事業である寮事業のさらなる拡大展開と収益力再強化。2028年3月期に50,000室を目指す

3. 新規事業の早期確立

第3の柱となる新規事業の早期確立を推進する

2. ホテル事業の基盤強化

成長力の高いホテル事業の基盤強化と拡大。ドリーミン事業で2028年3月期に20,000室を目指す

4. エリア拡大と顧客満足度向上

顧客満足度のさらなる追求とエリアの拡大を骨子とした中期経営計画を実施

③ 対処すべき課題

① 世界経済の不確実性への対応

- ・ 米国関税政策、各国金融政策、ロシアウクライナ問題など不確実性への対応
- ・ 将来の環境変化に打ち勝つ強固な事業基盤の構築

② コロナ禍からの回復と再成長

- ・ 出張・レジャー需要の堅持、訪日需要の拡大への対応
- ・ コロナからの回復を通じた再成長の実現

③ 経営指標の向上

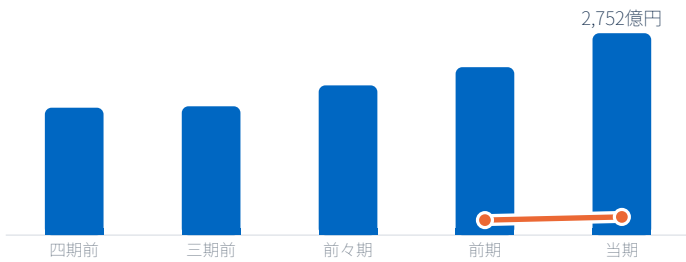
- ・ 連結ROE向上を経営における重要指標として位置づけ
- ・ ネットD/Eレシオ1倍以下、配当性向20%以上の達成

面接で使えるポイント

- ・ 『100年企業』を標榜する中で、2028年3月期に売上高2,800億円、営業利益280億円を目指すビジョン
- ・ 寮事業50,000室、ドリーミン20,000室など開発計画で具体的な成長戦略を実行中
- ・ 食・住・癒しの3つのサービスで『顧客第一』の原点を貫く事業展開

証券コード 9616

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,752億円営業利益率
9.0%財務健康度
40点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 44.4（当サイト算出の参考指標）

要するに
学生寮・社員寮・ホテル・シニアライフ関連事業を
主軸とする総合生活関連サービス企業

主力事業・セグメント

- ・ホテル 58.1%
- ・Dormitories 22.4%
- ・建設 15.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,752億円の事業規模
- ・営業利益率9.0%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
528万円

サービス業内 351位/524社

平均年齢
38.1歳

サービス業内 281位/527社

平均勤続
6.1年

サービス業内 284位/527社

女性管理職
20.1%

サービス業内 175位/371社

男性育休
76.3%

サービス業内 157位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 共立メンテナンス[9616]：格付の見直し変更に関するお知らせ

